

## 能代市総合計画 まちづくり点検表

平成21年10月作成

## 1 政策のめざす姿や状態

基本目標	2	元気とうるおいのまち
政策	(6)	豊かな自然とその恵みを活かす観光
めざす姿や状態	①	観光による交流やにぎわいが生まれ、地域に活気があること。
—評価の目安— (^~^ ) 順調 (-_-) 横ばい (>_<) 不調	②	豊かな自然や特色ある郷土料理など、地域資源の魅力により、来訪者の満足度が高まること。
	③	観光やイベントの宣伝ができていて、地域のイメージが高まること。

## 2 指標の推移と評価、取組の改善策

(-_-) 横ばい	55	観光客入込客数	
指標の推移	推移の分析・考えられる要因	目標に向けた課題・方向性	考えられる取組の改善策
<p>1,397, 1,391, 546人 127人 1,600, 000人</p> <p>H19 H20 H21 H22 H23 H24</p>	<p>観光地点別入込客数調査の数値を指標としており、同地点での調査を行っているが、</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・能代地区で温泉宿泊施設が閉鎖した後、営業開始まで期間があったこと。</li> <li>・20年度から能代海水浴場を休止したこと。</li> <li>・ニツ井地区で19年10月から休業した宿泊施設があったこと。</li> </ul> <p>などの理由により減少した。</p>	<p>マイナス要因が多かった中で、全体としては微減にとどまっていることから、なお一層のPRに努め、誘客を図る。</p>	<p>・誘客を図るため、HPやブログ等を活用し、イベント・観光情報を発信。</p>

(-_-) 横ばい	56	豊かな自然や特色ある郷土料理など、他に誇れる観光資源があると思う市民の割合	
指標の推移	推移の分析・考えられる要因	目標に向けた課題・方向性	考えられる取組の改善策
<p>46.1% 45.2% 45.8% 56.0%</p> <p>H19 H20 H21 H22 H23 H24</p>	<p>市民にとって、能代の自然・各種イベント・郷土料理などは、他に誇れるものではあるが、身近なものでもあることから、「能代の観光」を意識する市民の増加に結びついていないものと考えられる。</p>	<p>市民が、能代のいいもの・いいところを観光素材として意識し、市外の人に対して紹介できるよう、市民への情報提供の方法を検討する。</p>	<p>・市内の観光地を回るツアーやなべっこ遠足など市民も参加できる観光や食のメニューの開発・掘り起こしを支援。</p> <p>・HPやブログ、広報紙を活用し、市民も「能代の観光」を意識することができるように、イベント・観光情報を発信。</p> <p>・映像を通して能代の魅力を発信し、市民が地域を再認識できるように、能代FCの活動を支援。</p>

## 能代市総合計画 まちづくり点検表

平成21年10月作成

## 1 政策のめざす姿や状態

基本目標	2	元気とうるおいのまち
政策	(7)	自然と共生し地域で支える環境保全
めざす姿や状態	①	自然と親しみ、自然を通して人がふれあい、地域の財産として保全と活用ができること。
—評価の目安— (^~) 順調 (-_) 横ばい (>_) 不調	②	環境問題に対して適正に対処し、良好な環境を保全できること。
	③	身近な環境や自然、エネルギーに関する理解が深まり、地域ぐるみの環境活動につながること。

## 2 指標の推移と評価、取組の改善策

(>_) 不調	57	米代川やきみまち阪、風の松原などの豊かな自然は、他に誇れると思う市民の割合												
指標の推移		推移の分析・考えられる要因	目標に向けた課題・方向性	考えられる取組の改善策										
<table border="1"> <caption>指標の推移 (米代川やきみまち阪、風の松原などの豊かな自然は、他に誇れると思う市民の割合)</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>割合 (%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H19</td> <td>71.7%</td> </tr> <tr> <td>H20</td> <td>72.7%</td> </tr> <tr> <td>H21</td> <td>67.7%</td> </tr> <tr> <td>H24</td> <td>81.0%</td> </tr> </tbody> </table>		年度	割合 (%)	H19	71.7%	H20	72.7%	H21	67.7%	H24	81.0%	<p>環境学習講座において、市の優れた自然と触れ合う機会を設け、自然環境保全意識の高揚を図っているが、市民意識には結びつかなかったと考えられる。</p>	<p>今後も引き続き、貴重な自然環境の保全に努めながら、より多くの市民に豊かな自然を知ってもらうよう努める必要がある。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・能代の自然について理解を深めてもらうため、能代の優れた自然を環境マップとして作成し、学校などに配布。</li> <li>・自然環境保全意識の高揚を図るため、環境大学や子ども環境探偵団活動を継続。</li> </ul>
年度	割合 (%)													
H19	71.7%													
H20	72.7%													
H21	67.7%													
H24	81.0%													

(-_) 横ばい	58	環境自治体スタンダード (LAS-E) の合格ステージ										
指標の推移		推移の分析・考えられる要因	目標に向けた課題・方向性	考えられる取組の改善策								
<table border="1"> <caption>指標の推移 (環境自治体スタンダード (LAS-E) の合格ステージ)</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>合格ステージ</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H19</td> <td>1st. 7</td> </tr> <tr> <td>H20</td> <td>1st. 7</td> </tr> <tr> <td>H24</td> <td>2st. 7</td> </tr> </tbody> </table>		年度	合格ステージ	H19	1st. 7	H20	1st. 7	H24	2st. 7	<p>平成20年度より能代地域の小・中学校、商業高校、共同調理場及び保育所に対象範囲を拡大し、市全域で取組を進めてきたが、20年11月に実施された環境監査の報告書類に基づき、20年12月のLAS-E判定委員会で、第1ステージのエコアクション部門、エコマネジメント部門、エコガバナンス部門の3部門について、適切に維持されていると判断された。</p>	<p>今後は、第1ステージのレベルアップ項目（関係法令の洗い出し、職場単位の取組目標設定）の実施及び第2ステージへのステップアップの検討を行う必要がある。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・環境監査及びLAS-E判定委員会で指摘のあった問題点について改善を図るとともに、第1ステージのレベルアップ項目について、実施に向けて検討。</li> <li>・第2ステージへのステップアップに向けた調査等の実施。</li> </ul>
年度	合格ステージ											
H19	1st. 7											
H20	1st. 7											
H24	2st. 7											

## 能代市総合計画 まちづくり点検表

平成21年10月作成

## 1 政策のめざす姿や状態

基本目標	2	元気とうるおいのまち
政策	(8)	資源を大切にし社会を持続できる衛生環境
めざす姿や状態	①	普段の生活からごみの減量化や資源化が進むこと。
—評価の目安— (^_^) 順調 (-_-) 横ばい (>_<) 不調	②	環境に対する意識が高まり、いつもまちがきれいであること。
	③	生活上の衛生が保たれること。

## 2 指標の推移と評価、取組の改善策

(^_^) 順調	59	1人1日あたりごみ排出量		
指標の推移		推移の分析・考えられる要因	目標に向けた課題・方向性	考えられる取組の改善策
<p>642 g 591 g 537 g 544 g</p> <p>H19 H20 H21 H22 H23 H24</p>		<p>資源分別の定着が一層進んでいるものと思われる。これまでの取組としては、廃棄物減量等推進員756人を委嘱し、研修会を開催したほか、「容器包装プラスチック」の新たな分別に伴う説明会においても、混ぜればごみ、分ければ資源の徹底を説明した。</p>	<p>平成20年度より新たに「容器包装プラスチック」の分別を開始しており、ごみ減量の取組を進めるとともに、生ごみリサイクル、水切りによる更なるごみの減量に努める。</p>	<p>(順調に推移しているので取組を維持。)</p>

(-_-) 横ばい	60	限りある資源を大切にするため、紙類などを資源ごみに分別することを心がけている市民の割合		
指標の推移		推移の分析・考えられる要因	目標に向けた課題・方向性	考えられる取組の改善策
<p>88.5% 89.8% 88.7% 92.0%</p> <p>H19 H20 H21 H22 H23 H24</p>		<p>リサイクルの取組が定着してきているものと思われ、基準値からはわずかだが上昇した。</p>	<p>広報紙等を利用して更なるリサイクルへの取組を呼びかける。</p>	<p>・リサイクルの啓発を継続。</p>

## 能代市総合計画 まちづくり点検表

平成21年10月作成

## 1 政策のめざす姿や状態

基本目標	3	安全と安心のまち
政策	(1)	安全な暮らしを守る防災・防犯体制
めざす姿や状態	①	普段から消防や防災、防犯の意識を持ち、犯罪やトラブルがなく、地域が安全で暮らしやすいこと。
—評価の目安— (^_^) 順調 (-_-) 横ばい (>_<) 不調	②	安全に通行できる環境があり、交通安全の意識が浸透し、交通事故を防げること。
	③	子どもや高齢者など弱い立場の人の被害を防げること。

## 2 指標の推移と評価、取組の改善策

(^_^) 順調	61	災害などもしもの場合に普段から備えることを心がけている市民の割合																
指標の推移		推移の分析・考えられる要因	目標に向けた課題・方向性	考えられる取組の改善策														
<table border="1"> <caption>指標の推移 (61)</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>割合</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H19</td> <td>25.5%</td> </tr> <tr> <td>H20</td> <td>30.0%</td> </tr> <tr> <td>H21</td> <td>26.5%</td> </tr> <tr> <td>H22</td> <td>30.0%</td> </tr> <tr> <td>H23</td> <td>30.0%</td> </tr> <tr> <td>H24</td> <td>30.0%</td> </tr> </tbody> </table>		年度	割合	H19	25.5%	H20	30.0%	H21	26.5%	H22	30.0%	H23	30.0%	H24	30.0%	<p>災害などに備える市民の割合が、基準値からは増加している。</p> <p>これは、近年各地で大きな地震や風水害が発生して災害が身近に感じられ、また、平成19年9月と平成21年7月の水害を体験したことにより、防災意識が向上したものと考えられる。</p>	<p>今後は、自主防災組織の育成、広報紙への記事掲載、出前講座の実施、ハザードマップの作成・配布などにより、意識の向上を図っていく必要がある。</p>	<p>・自治会・町内会の防災活動の取組促進。</p>
年度	割合																	
H19	25.5%																	
H20	30.0%																	
H21	26.5%																	
H22	30.0%																	
H23	30.0%																	
H24	30.0%																	

(^_^) 順調	62	防災訓練参加者数												
指標の推移		推移の分析・考えられる要因	目標に向けた課題・方向性	考えられる取組の改善策										
<table border="1"> <caption>指標の推移 (62)</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>参加者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H19</td> <td>6,269人</td> </tr> <tr> <td>H20</td> <td>7,818人</td> </tr> <tr> <td>H21</td> <td>8,282人</td> </tr> <tr> <td>H22</td> <td>7,100人</td> </tr> </tbody> </table>		年度	参加者数	H19	6,269人	H20	7,818人	H21	8,282人	H22	7,100人	<p>平成21年度の市の総合防災訓練では、市の施設以外の参加も得て実施できたことや、市職員の避難訓練も実施し、また、地元自治会の協力も大きかったため、参加者数が増加した。</p>	<p>住民がより参加しやすいような訓練の実施方法を検討する必要がある。</p> <p>また、自主防災組織独自で訓練が実施できるような取組が必要となっている。</p>	<p>・自治会・町内会、自主防災組織独自で実施する場合の支援の仕方を検討。</p>
年度	参加者数													
H19	6,269人													
H20	7,818人													
H21	8,282人													
H22	7,100人													

(>_<) 不調	63	消防団員の定員の充足率												
指標の推移		推移の分析・考えられる要因	目標に向けた課題・方向性	考えられる取組の改善策										
<table border="1"> <caption>指標の推移 (63)</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>充足率</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H19</td> <td>86.8%</td> </tr> <tr> <td>H20</td> <td>83.0%</td> </tr> <tr> <td>H21</td> <td>82.8%</td> </tr> <tr> <td>H22</td> <td>88.0%</td> </tr> </tbody> </table>		年度	充足率	H19	86.8%	H20	83.0%	H21	82.8%	H22	88.0%	<p>ここ数年、退職団員数が新任団員数を上回っており、団員数の減少が続いている。</p> <p>これは、本市に限ったことではなく、全国的な傾向であるが、要因としては、若年層の減少、被雇用者の増加、地域社会の状況の変化、消防団の意義や活動実態などの住民の認知度不足などがあげられる。</p>	<p>消防団に関する住民等の認知度の向上や、消防団員であることの魅力の実感づくり、事業所等との協力体制の推進など、多方面にわたる総合的な団員確保の取組と、団員が活動しやすい環境づくりに努める必要がある。</p> <p>また、多彩な人材を採用し活用できるよう、入団資格の緩和や機能別団員の設置について、基本団員の理解を得ながら検討する必要がある。</p>	<p>・消防団員確保推進員の拡充など地域住民と一体となった団員確保の取組。</p> <p>・協力事業所への優遇制度など事業所等との協力体制を推進。</p>
年度	充足率													
H19	86.8%													
H20	83.0%													
H21	82.8%													
H22	88.0%													

(-_-) 横ばい	64	がけ地近接等の危険住宅の戸数		
指標の推移	推移の分析・考えられる要因	目標に向けた課題・方向性	考えられる取組の改善策	
<p>62戸 62戸 62戸 61戸</p> <p>H19 H20 H21 H22 H23 H24</p>	<p>対象となる住宅で生活をしている世帯では、高齢化・核家族化による家の後継者のことや、補助対象が解体費と建設（購入）の際の借用金の利子補給であり、住宅建替等の費用は本人負担となることなどにより、すぐに建替等に踏み切れない状況と考えられ、横ばいとなっている。</p>	<p>対象世帯自身が判断する問題ではあるが、がけ地近接危険住宅移転事業の内容を周知するなど、啓発により事業推進を図っていく。</p>	<p>・啓発のため毎年継続して事業内容を対象世帯に周知。</p>	

(^-^ ) 順調	65	能代警察署管内の交通事故死者数		
指標の推移	推移の分析・考えられる要因	目標に向けた課題・方向性	考えられる取組の改善策	
<p>5人 3人 4人 4人</p> <p>H19 H20 H21 H22 H23 H24</p>	<p>能代警察署管内の交通事故の発生件数は年々減少傾向にある。その中でも、高齢化に伴い交通事故による死亡者の半数以上を高齢者が占めている。</p>	<p>今後も引き続き、関係機関との連携を図りながら、交通事故・交通事故死亡者をなくすための取組を進めていく必要がある。特に、高齢運転者による交通事故を抑制するための取組を進めていく。</p>	<p>(順調に推移しているので取組を維持。)</p>	

(^-^ ) 順調	66	能代警察署管内の犯罪件数		
指標の推移	推移の分析・考えられる要因	目標に向けた課題・方向性	考えられる取組の改善策	
<p>602件 610件 541件 550件</p> <p>H19 H20 H21 H22 H23 H24</p>	<p>近年、能代警察署管内の犯罪件数は減少傾向にあるものの、高齢者をねらった振り込め詐欺や悪質リフォーム、インターネットなどを利用した悪質商法、架空請求などにも注意が必要となっている。</p>	<p>今後も引き続き、地域住民や警察署、防犯協会、学校などの関係機関と一体となった防犯体制により、地域の安全を守っていく必要がある。</p>	<p>・関係機関が一体となった防犯体制のための仕組みの検討。</p>	

## 能代市総合計画 まちづくり点検表

平成21年10月作成

## 1 政策のめざす姿や状態

基本目標	3	安全と安心のまち
政策	(2)	機能的で利用しやすい道路・交通ネットワーク
めざす姿や状態	①	生活道路や歩道、排水路などの生活基盤が整っていて、安全で快適に暮らせること。
—評価の目安— (^-^ ) 順調 (-_-) 横ばい (>_<) 不調	②	除排雪などに地域住民やボランティアなどの協力態勢が整っていて、季節を問わず安全に通行できること。
	③	路線バスなどの交通手段が整っていて、快適に移動できること。

## 2 指標の推移と評価、取組の改善策

(^-^ ) 順調	67	道路の整備延長 (改良率)		
指標の推移		推移の分析・考えられる要因	目標に向けた課題・方向性	考えられる取組の改善策
		<p>改良率増の要因としては、現道を改良したもののほか、県道からの移管や、ほ場整備・開発行為等により整備された道路の帰属によるものが多くを占めている。</p> <p>改良延長 総延長 H20: 414,686m/737,171m H21: 418,566m/738,555m</p> <p>H20→H21 増分 3,880m うち移管・帰属によるもの 675m</p>	<p>現道を拡幅改良したり、新規に道路を整備するには、用地買収や移転補償、工事費等の多大な費用を要するため、費用対効果を見極めながら検討を進めていく必要がある。</p>	<p>・費用対効果を考えて、改良の必要箇所を抽出し、少しでも有利になる事業手法を検討。</p>

(^-^ ) 順調	68	道路の整備延長 (舗装率)		
指標の推移		推移の分析・考えられる要因	目標に向けた課題・方向性	考えられる取組の改善策
		<p>舗装率増の要因としては、新規に舗装したもののほか、県道からの移管や、ほ場整備・開発行為等により整備された道路の帰属によるものが多くを占めている。</p> <p>舗装延長 総延長 H20: 503,011m/737,171m H21: 505,038m/738,555m</p> <p>H20→H21 増分 2,027m うち移管・帰属によるもの 675m</p>	<p>市民生活に密接に関連し、かつある程度の戸数が接している市道については、すでに大半が舗装済みである。舗装整備にあたっては、安全性・快適性など効果が期待できる箇所を選定する必要がある。また、舗装することで、道路冠水や住宅冠水の危険性が増すため、排水施設の状況も踏まえて検討する必要がある。</p>	<p>・自治会・町内会や市民からの要望等を把握した上で、舗装の必要性・安全性を十分検討。</p>

(^-^ ) 順調	69	除排雪や清掃活動など、近所や自治会・町内会などで協力しあう体制が整っていると思う市民の割合		
指標の推移		推移の分析・考えられる要因	目標に向けた課題・方向性	考えられる取組の改善策
		<p>平成18年豪雪を契機として、除排雪や清掃活動などで、地域住民やボランティアなどの協力体制が整いつつある。特に除排雪に関しては、地域の排雪作業に機械の貸出しも行って協働で取り組んでいるほか、広報紙での周知や自治会・町内会への説明会開催など協力への呼びかけにより、徐々にではあるが意識の浸透につながっているのではないかと考えられる。</p>	<p>市だけで対応可能な作業は限られており、協働で活動に取り組むことの必要性を周知していくとともに、協働の体制を確立していく必要がある。</p>	<p>・広報紙やホームページ等での啓発。 ・自治会・町内会や事業所等への継続的な働きかけ。</p>

(--) 横ばい		70	巡回バスの1便平均利用者数												
指標の推移		推移の分析・考えられる要因		目標に向けた課題・方向性	考えられる取組の改善策										
<table border="1"> <caption>巡回バスの1便平均利用者数推移表</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>平均利用者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H19</td> <td>14.1人</td> </tr> <tr> <td>H20</td> <td>14.5人</td> </tr> <tr> <td>H21</td> <td>13.5人</td> </tr> <tr> <td>H24</td> <td>16.0人</td> </tr> </tbody> </table>		年度	平均利用者数	H19	14.1人	H20	14.5人	H21	13.5人	H24	16.0人	<p>利用客が固定化する傾向にあり、高齢や病気で利用しなくなった人の影響などにより減少につながったと考えられる。</p>		<p>現在利用していない人たちに新たに乗車してもらうための方策を考え、利用者の声を聞きながら、利便性の向上を図っていく。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・乗降調査や利用者アンケート調査を継続し、利便性向上のためのルート変更や低床バスの導入などを検討。</li> <li>・バスの乗車無料日の設定や広報紙等でのPR。</li> </ul>
年度	平均利用者数														
H19	14.1人														
H20	14.5人														
H21	13.5人														
H24	16.0人														

## 能代市総合計画 まちづくり点検表

平成21年10月作成

## 1 政策のめざす姿や状態

基本目標	3	安全と安心のまち
政策	(3)	効果的で調和のとれた土地利用
めざす姿や状態	①	それぞれの地域が持つ資源や特性、整備された生活基盤が活用され、この地域に合った良好な都市形成が進むこと。
—評価の目安— (^~^ ) 順調 (-_-) 横ばい (>_<) 不調	②	定住人口や交流人口の確保により、中心市街地に活気があること。

## 2 指標の推移と評価、取組の改善策

(-_-) 横ばい	71	中心市街地活性化重点区域の空き店舗率																						
指標の推移		推移の分析・考えられる要因	目標に向けた課題・方向性	考えられる取組の改善策																				
<table border="1"> <caption>空き店舗率推移表</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>空き店舗数</th> <th>総店舗数</th> <th>空き店舗率</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H19</td> <td>40</td> <td>195</td> <td>20.5%</td> </tr> <tr> <td>H20</td> <td>30</td> <td>176</td> <td>17.0%</td> </tr> <tr> <td>H21</td> <td>45</td> <td>208</td> <td>21.6%</td> </tr> <tr> <td>H24</td> <td>45</td> <td>208</td> <td>20.5%</td> </tr> </tbody> </table>		年度	空き店舗数	総店舗数	空き店舗率	H19	40	195	20.5%	H20	30	176	17.0%	H21	45	208	21.6%	H24	45	208	20.5%	<p>平成18年度（グラフではH19）の40/195（20.5%）から20年度の30/176（17.0%）、21年度の45/208（21.6%）となっており、空き店舗率は増減している。</p> <p>分母となる総店舗数、分子の営業店舗数とも増加しているが、状況が改善しているとは言えない。</p> <p>人口減少や高齢化、ロードサイド店へのシフト、消費行動の多様化と地域商業のミスマッチ等が要因と考えられる。</p>	<p>商店街の活性化や空き店舗の活用につなげていくため、まずは的確な現況把握が必要となっている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・商店街・宅建協会等と連携して、的確な現況調査を行うとともに、情報公開により空き店舗の流動化を促進。</li> <li>・パンフレット等により市の空き店舗流動化支援事業などを効果的にPR。</li> </ul>
年度	空き店舗数	総店舗数	空き店舗率																					
H19	40	195	20.5%																					
H20	30	176	17.0%																					
H21	45	208	21.6%																					
H24	45	208	20.5%																					



## 能代市総合計画 まちづくり点検表

平成21年10月作成

## 1 政策のめざす姿や状態

基本目標	3	安全と安心のまち
政策	(4)	快適で暮らしやすい住環境
めざす姿や状態	①	飲用水の確保や生活排水の処理などにより、衛生的で快適な生活環境になること。
一評価の目安 (^-) 順調 (-_) 横ばい (>_) 不調	②	情報通信技術を利用できる環境になること。
	③	安らぎのある憩いの場として、公園や広場などを安心して利用できること。

## 2 指標の推移と評価、取組の改善策

(^-) 順調	72	水道普及率											
指標の推移	推移の分析・考えられる要因	目標に向けた課題・方向性	考えられる取組の改善策										
<table border="1"> <caption>水道普及率推移</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>普及率</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H19</td> <td>85.6%</td> </tr> <tr> <td>H20</td> <td>86.5%</td> </tr> <tr> <td>H21</td> <td>86.0%</td> </tr> <tr> <td>H24</td> <td>86.0%</td> </tr> </tbody> </table>	年度	普及率	H19	85.6%	H20	86.5%	H21	86.0%	H24	86.0%	<p>上水道給水区域の拡張により、水道未普及地域の解消は順調に推移しており、普及率増加の要因となっている。</p> <p>一方、減少の要因は、給水人口の減少によるものである。</p> <p>以上の増減要因のバランスにより、各年度間でばらつきがある。</p>	<p>今後も引き続き、水道未普及地域の解消や簡易水道の統合など、水道の整備や充実に努めるが、水道事業は独立採算を基本とする事業であることから、事業経営も考慮しながら、効率的な整備を行っていく必要がある。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・能代市水道等整備計画に基づき整備を推進。</li> </ul>
年度	普及率												
H19	85.6%												
H20	86.5%												
H21	86.0%												
H24	86.0%												

(-_) 横ばい	73	汚水処理人口普及率											
指標の推移	推移の分析・考えられる要因	目標に向けた課題・方向性	考えられる取組の改善策										
<table border="1"> <caption>汚水処理人口普及率推移</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>普及率</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H19</td> <td>57.7%</td> </tr> <tr> <td>H20</td> <td>56.4%</td> </tr> <tr> <td>H21</td> <td>57.7%</td> </tr> <tr> <td>H24</td> <td>67.6%</td> </tr> </tbody> </table>	年度	普及率	H19	57.7%	H20	56.4%	H21	57.7%	H24	67.6%	<p>普及率の一時的な減少は、公共下水道整備済み人口の数値の整理によるもので、実質的な整備区域は少しずつではあるが拡大している。</p> <p>普及率の伸びが目標に対して緩やかな要因は、公共下水道では合流改善事業等に事業費を要し面整備が進まなかったこと、農業集落排水では浜浅内に続く地区の新規事業化ができなかったこと、浄化槽整備では経済状況の悪化などにより設置基数が伸びなかったことなどが考えられる。</p>	<p>市の財政運営に大きな影響が出ないような事業計画とした上で、限られた財源の中でどう普及率を高めていくかが課題となっている。</p> <p>特に浄化槽整備事業については、能代地域でも集合処理の計画がない地区では市町村設置型で整備を進めることとしたことから、普及率の向上と経費節減のため、PFI事業の可能性について調査を進めている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・公共下水道事業の計画的な整備。</li> <li>・農業集落排水事業を実施するための対象地区との調整。</li> <li>・浄化槽整備事業の補助制度の市単独上乘せ補助の継続。</li> </ul>
年度	普及率												
H19	57.7%												
H20	56.4%												
H21	57.7%												
H24	67.6%												

(^-) 順調	74	飲用水の確保や生活排水の処理など、衛生的な生活環境は維持されていると思う市民の割合											
指標の推移	推移の分析・考えられる要因	目標に向けた課題・方向性	考えられる取組の改善策										
<table border="1"> <caption>飲用水の確保や生活排水の処理など、衛生的な生活環境は維持されていると思う市民の割合推移</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>割合</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H19</td> <td>65.1%</td> </tr> <tr> <td>H20</td> <td>64.7%</td> </tr> <tr> <td>H21</td> <td>66.4%</td> </tr> <tr> <td>H24</td> <td>69.0%</td> </tr> </tbody> </table>	年度	割合	H19	65.1%	H20	64.7%	H21	66.4%	H24	69.0%	<p>上水道給水区域や公共下水道整備区域が少しずつでも拡大していることで指標が向上しているものと考えられる。</p> <p>なお、指標が一時的に落ち込んだのは、平成20年7月の浄水場一元化に伴う濁り水の発生が影響したものと考えられる。</p>	<p>上水道に関しては、濁り水の発生で浄水場の一元化には至らなかった経緯があるが、臥竜山浄水場の老朽化が進んでいるため、濁り水を極力発生させないように一元化を進める必要がある。</p> <p>また、下水道に関しては、市の財政運営に大きな影響が出ないような事業計画とした上で、限られた財源の中でどう普及率を高めていくかが課題となっている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・能代市水道等整備計画に基づき整備を推進。</li> <li>・上水道においては浄水場の一元化をスムーズに進めるための研究・検討。</li> <li>・公共下水道事業の計画的な整備。</li> <li>・農業集落排水事業を実施するための対象地区との調整。</li> <li>・浄化槽整備事業の補助制度の市単独上乘せ補助の継続。</li> </ul>
年度	割合												
H19	65.1%												
H20	64.7%												
H21	66.4%												
H24	69.0%												